

発行者名	東京書籍	開隆堂出版
<p>調査の観点</p> <p>1 内容                      (1) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。                      (2) 児童の発達段階に対する配慮されているか。                      (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。                      (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。                      (5) 児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p>	<p>(1) 目次の部分に目標、内容が分かりやすく示されており、児童が学習の見通しをもてるよう配慮されている。                      ・児童の発達段階に応じて、学習内容や実習内容が精選されており、目標や内容に配慮している。                      (2) 児童にとって初めて学習する内容である実技分野の作業手順が丁寧に記載されている。                      ・家庭科の「学び方」が巻頭に掲載してあり、学び方が分かりやすく示されている。                      (3) 安全面についての記載は、単元ごとに必要に応じて取り上げられ、注目しやすいように色で囲んで示されている。                      ・「これだけではできるようになるう」等では児童が身に付けるべき技能や理解すべき内容が示されており、意識して考えることができるよう配慮されている。                      ・ごみを減らすは6R(リデュース・リユース・リサイクル・リフォーム・リペアー・リヒューズ)の扱いとなっている。                      (4) 5年生の最初の学習に「家庭生活と家族をみつめよう」の中で、自分でできることをイラストを活用して示している。                      ・使い道を考えて製作に取り組むことができるよう作成例が多く示されている。                      ・自由研究があり、児童の関心を引き出すし家庭学習につながる配慮がある。                      (5) 作品例が6年生で発展的なものが多い。自分の経験を生かしたり、学習したことも自由研究等の参考資料として活用できる。また振り返りを通して達成感をもったり、つまずきを見つけることができる。</p>	<p>(1) 目次の部分に、学習のめあてが簡潔に書かれており、分かりやすい。下学年までの学習から5、6年生、中学生へと児童が学習の見通しをもてるよう配慮されている。                      (2) 児童にとって初めて学習する内容である実技分野の作業手順が、写真を多く取り入れ分かりやすく示されている。                      ・家庭で実践する「チャレンジコーナー」は、学んだことを家庭で実践しようとする心情を育てる手だてとなっている。                      (3) 安全面についての記載は、巻頭・巻末で示されている。                      ・5年で「寒い季節」、6年で「暑い季節」という学習単元になっている。                      ・チャレンジコーナー等、振り返りをもとに実践化につなげることができる。                      ・ごみを減らすは3R(リデュース・リユース・リサイクル)の扱いとなっている。                      (4) 脚注に関連用語の解説(ひとロメモ)があり、児童の興味・関心が高められるよう配慮されている。                      ・製作の写真(製作の仕方・難しい部分のポイント・仕上りの写真等)は、児童が興味・関心をもって自主的に取り組めるよう配慮されている。                      ・チャレンジコーナーは、学習したことを応用・実践できるように構成されている。                      ・環境への配慮事項も盛り込まれている。                      (5) 調理実習等、平易なものから段階的に学習のねらいを高めながら、繰り返し学習できる。</p>
<p>2 構成及び分量                      (1) 内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。                      (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。                      (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p>	<p>(1) 系統的・発展的に記述されている。                      (2) 5年生では7単元が設定されている。                      ・分量は127ページと豊富である。                      ・掃除についての学習内容は1単元で扱っている。家庭と学校の二つの場面が取り上げられている。                      (3) 要点を捉え、分かりやすく資料的に扱うことができる。                      ・児童がつまずきやすい学習について、別の方法が記載してあり、補充発展につながる。</p>	<p>(1) 系統的・発展的に記述されている。                      (2) 5年生では10単元設定されている。単元に軽重を付けた配慮をしている。                      ・分量は1ページの情報量が多く、全体は113ページにまとめられている。                      ・「片付け・掃除」の題材が別々の構成になっており(5年生で教室の自分の机、6年生で卒業していく学校の掃除)、段階的に取り組む設定になっている。                      (3) 食物アレルギー、食中毒へ対応した記述がある。                      ・「中学生に向かって」という項目があり、中学校(技術科・家庭科)との結びつきができ発展につながる。                      ・参考やチャレンジコーナーが発展的教材として力を伸ばしたい児童等に活用できる教材である。また学期の終わりに設けられているので長期休業中に実践できるよう配慮されている。</p>
<p>3 表記及び表現                      (1) 児童にとって読みやすい表現であるか。                      (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1) 大切な言葉が太字で示されている。                      ・「私たちは・・・」等、児童が身近に感じられるような言葉の表現を用いており、自分の生活と関連して考えられるよう配慮されている。                      (2) ガスコンロの元栓の図にホースがついている。栓の向きが分かりやすく示されている。                      ・キャラクターを使い、大事なポイントを吹き出しで説明する等、児童の興味・関心を引く工夫がされている。                      ・巻末に「左利き・右利き」の両方の写真を掲載し、詳しく説明しており、分かりやすい。多様性への配慮がなされている。</p>	<p>(1) 単元で学ぶべきことが、チェック欄にまとめて示されており、習得すべきことや振り返りのポイントが分かりやすく示されている。                      ・外国語(クッキング・ソーイング・クリーン等)を使った題材名が多く見られる。                      (2) 児童の興味を引きつける作品例(布を使った作品:小物、、マスコット、クッション、カフェエプロン、ブックカバー、湯たんぽカバー等)や料理が多く掲載され、児童の創作意欲が向上するよう配慮されている。                      ・具体的な場面や実物等の写真が多く掲載されており、児童が作業の中で参考にできるよう配慮がなされている。</p>
<p>4 使用上の便宜                      (1) 全体の構成が見通せるように配慮しているか。                      (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。                      (3) 印刷・装丁に対して配慮しているか。                      (4) 地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) 目次は5～6年生の学習内容が分かりやすく配列されている。                      ・「いつもたしかめよう」が巻末にあり、習得すべき基本的な技能が確認できる。                      (2) 「見つけよう→計画しよう→生活に生かそう」の3ステップが分かりやすく提示されている。                      (3) 全体的にやわらかい色調である。カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色及びデザインの検証が行われている。ユニバーサルデザイン(UD)書体を使用している。再生紙、植物油インキを使用している。                      (4) 巻末に「持続可能な社会」を取り上げ、環境のためにできることを考えるヒントが示されている。                      ・みそ汁とご飯を扱う単元で「日本の伝統」の欄を効果的に挿入している。                      ・郷土料理や米を使った料理、出汁等、様々な料理・調理等を掲載している。おせち料理について詳しく解説している。</p>	<p>(1) 5年生で学ぶ内容は主として基礎基本とし、6年生で応用させながら生活に生かす構成となっている。                      ・「学習のめあて→(学習活動)→振り返ろう、生かそう」のステップが分かりやすく提示されている。                      (2) 家庭で取り組みやすい例を提示している。                      ・用語が巻末の索引に載せてあり、児童が自力解決できるよう配慮されている。                      (3) シンプルで使いやすい。CUD(カラーユニバーサルデザイン)マークに示されているように色覚の個人差に配慮している。                      ・環境に配慮した用紙やインキを使用している。                      (4) 環境問題を取り上げ、考えるヒントが示されている。                      ・郷土料理は「みそ料理」を中心に扱っている。</p>
<p>5 総合所見                      (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。                      (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) 教科書を開くと、すぐに全体を見通すことができる。                      ・各題材とも児童の生活経験から展開されており、学習しやすい配列になっている。                      (2) 災害に備えての考え方も取り入れている。                      ・表が多く掲載されており、自分の考えや観察の記録・作業手順等書き入れる活動が設定されている。言語活動につなげるよう配慮がなされている。</p>	<p>(1) 製作手順、実習の手順について、横流しで一連の作業工程が把握できる。                      ・写真で見やすく、説明も丁寧に示され児童が活用・参考にできるよう配慮されている。                      (2) 写真が多く使われていて、視覚的な情報が充実している。                      ・学習の振り返りを自己評価できるよう観点が見られ、チェックができるようになっている。</p>